

## 平成 28 年度 第 4 回 市長と語ろう！笠間タウントーキング 議事録

開催日：平成 28 年 6 月 19 日（日）午前 10 時～11 時 36 分

場 所：笠間市役所 教育棟 2-1, 2-2 会議室

出席者：16 名

### 《フリートーク（意見交換）》

- 1 JR 友部駅構内の運用について
- 2 住所の地番について
- 3 交通安全指導車のマナーについて
- 4 広域斎場やすらぎの森について
- 5 学校給食の地産地消について
- 6 かさまこども園について
- 7 敬老会について
- 8 笠間城について
- 9 下水道管理について（道路側溝に訂正）
- 10 市道の草刈りについて
- 11 青年海外派遣団員の募集について
- 12 行政区加入促進について

### 《内容》

#### 1 JR 友部駅構内の運用について

##### 【意見等】

JR 友部駅南口バス停車エリアに一般乗用車が乗り入れている。バスの停車スペースが確保できていない。2 点目は運行の妨げでバスに遅延が生じている。3 点目はバス乗降者が優先なのか、一般乗用車が優先なのか。

その点については都市計画課に昨年ご意見申し上げたが改善されていない。茨城交通の運転手に聞くと、以前に比べてだいぶマナーが悪化している。元に戻してほしいというのがバス運転手の意見である。私としては今のバスの乗降場所とタクシーの乗降場所を交換すべきと思う。

また、現在のバス停車エリアの状況は、特に朝、送迎の一般車が埋め尽くしてしまい、バスが入ってこられない。北口に一般乗用車の乗降場所をつくり、南口へは一般乗用車の乗り入れを禁止すべきである。バス停留所の一般乗用車の乗り入れについては、JR 宇都宮駅東口を参考にしてほしい。完全に一般乗用車が入れないようにポールを立てている。

また、駐輪所について、現在、公共施設の建設に伴って、民間駐輪所を誘致

した。駐輪場の事業者の収益状況などの調査をきちんと行っているのか。

合わせて料金適正化の話をする。有料化について疑問をもっている市民は多い。子供たちが遊びに行くのに自転車をどこに止めて良いかわからないと話していた。利便性を図る上で無料化を視野に入れるべき。

歩道にせり出す樹木の伐採や街灯についても言いたい。一部の自治体によっては、気軽にご意見を寄せられるようにホームページにご意見板を設置している。私は秘書課にメールをしているが、もっと市民の生の声を聞きだして行政に反映するようなインフラ整備をするべきだ。

### 【回答】

JR 友部駅の南口については、各スペースが決められており、基本的には規則を守るというのが第一原則です。ただ、決められた場所が使いづらいことはあるかもしれない。もう一度よくバスの運転手やタクシーの運転手に確認してみます。特に雨のときは子供の送迎のためにバスの停留所に停めてしまい、バスの時間が遅れることや、駅の一つ目の信号までつながってしまうのは事実です。以前にもご意見をいただいたことがあります。マイカーで来る人たちに対して、決められたスペースに停めるように投げかけた経緯もあります。

しかし送ってくる方がぎりぎりに来て、無理やり停めるといったマナーの改善も必要です。我々としても、もう一度何らかの方法でルールを守って利用するように投げかけていきたいと思えます。

ただ、北口と南口の用途を振り分けるとするのは利用者の利便性から難しいです。駅を整備した時に皆さんと協議して現在の形になっています。もう一度検討させていただきます。JR 宇都宮駅の事例についてはよく調べてみます。

駐輪場についてご理解いただきたいのは、今は仮設であるということです。今は使いづらいが施設ができれば、きちんとしたものができます。屋根や盗難防止への措置などによって、有料化することを理解してください。金額は常識的な料金に設定していきます。

民間駐輪場については、スペース的に7割程度しか収容できないために、今後も残りの収容についてお願いしていく予定です。収益状況の調査については、我々に調査権はないため、難しいです。

公共交通の利用促進については、いろんなご意見をいただいておりますが、民間は利益があつてのものであり、現在市内で動いているバス路線は、笠間市がすべて補助を出しています。我々としても、いろいろな関係を通じ、利用促進をお願いしています。

今後、高齢化が進むうえで、移動手段の確保をどうするかは課題です。公共交通機関のあり方の検討を進めています。

樹木の伐採については、市の方に遠慮なく言っていただければ対応します。ただ、現在人が住んでいないなどの場所については時間がかかってしまうことをご理解ください。

街灯については、行政が設置するものと自治会が設置するものに分かれています。一定の基準のもと市民活動課で判断して対応しています。住民の方はどこが窓口かわからないことがあると思いますが、その時は、秘書課に電話をいただければ担当へつなぎます。また、今年ホームページの見直しを行います。意見の言いやすいかたちを検討していきます。我々が1番困るのは匿名の場合です。匿名だとご意見の回答が返せません。今後もぜひご意見をいただきたいです。

## 2 住所の地番について

### 【意見等】

住所の番地が多い大字がある。特に小原番地と平番地。先日、中学生の事故が起きたが、連絡する住所がわからなかった。

### 【回答】

番地については、国の方針で過去に大字にまとめた経緯がありますので、難しいところです。今は地名だけでも残そうと石の記念碑や信号の下の看板を旧町名で下げたりしています。

## 3 交通安全指導車のマナーについて

### 【意見等】

交通安全指導車が一時停止もせずに突っ込んでくる。教育をきちんとしてほしい。

### 【回答】

交通安全指導車については、教育を徹底していきます。

## 4 広域斎場やすらぎの森について

### 【意見等】

夜間の委託業務の方は、何度も話さないと理解してくれない。委託をやめて水戸のように受付時間を制限してはどうか。

### 【回答】

代行については早く対応できるように民間に委託しています。ただ、水戸の

ようにするかについては検討していきます。

## 5 学校給食の地産地消について

### 【意見等】

学校給食の地産地消については、岩間地区、友部地区は進んでいるが、笠間地区は劣っている。子供たちが食育を受ける権利を行政が阻んでいるのではないか。笠間地区は農業人口が多い。農協、生産者、行政が一体となって地産地消を推進するべきではないか。

また、いなり寿司が笠間の名物ということを知っている子供たちが知らない。年に何回か給食で出すべきなのではないか。行政で出すのは大変でも民間に委託などで対応出来るはずだ。

### 【回答】

学校給食の地産地消について、笠間地区には思っているほど大きな農家がありません。お米は地元のものを使っていますが、食材すべてを笠間産で補うのは難しいです。揃わない場合は茨城県産のもので、地産地消を行っています。これからも出来るだけ地産地消を進めていきます。

いなり寿司については給食センターと相談してみます。一回にまとめて出すのは難しいため方法については考えていきます。

## 6 かさまこども園について

### 【意見等】

かさまこども園については、例えば岩間からでは遠すぎるのでは。どう配慮しているのか。公立施設は民間施設のモデルになるべきと考えている。市長の考え方を聞きたい。

また、子育てに市で力を入れれば、人口が増加し労働力も増える。未来についてもっと考えるべきではないか。

### 【回答】

民間、公立どちらかが優れているわけではないと思います。なぜ認定こども園に至ったのかですが、笠間の保育施設が老朽化していて、その頃に、認定こども園の制度ができました。一体化してやっていくのが時代の流れでありました。実は、現在幼稚園、保育園のどちらにもいない子が3割もいます。その部分の吸い上げを目指していきます。

友部、岩間は民間施設があります。競合してしまうので、公の施設は作らない方針です。運営は、民間や公のほかに、施設を公、運営を民間など4種類の

やり方があります。笠間では公私連携というやり方で予定しています。大学も興味を持っているので、大学と連携していきます。くるす保育所とともにベ保育所は民間に譲る方向です。民間と言っても、学校法人など実績のあるところをお願いします。平成29年ごろから保護者に説明をしていく予定でいます。

## 7 敬老会について

### 【意見等】

敬老会の運営だが、1人当たり2,000円ではやりくりが難しいので値上げを検討してほしい。

### 【回答】

敬老会を行っていただいているのはありがたい。ただ、我々としては2,000円以内で行っていただきたい。他の地区では自分たちでお金を足して行っています。今後、高齢者が増加する中で、財政的に難しいです。

## 8 笠間城について

### 【意見等】

笠間城は地域資源として良いものである。発掘調査など、今後どういった計画なのか。財政的にどうなのかお聞きしたい。

### 【回答】

基礎調査は、国指定の文化財になりうるという面もあり、2年前から調査を行っています。面積が広大なために、一定のエリアに絞って、7年間かけて調査を行う予定です。城の復元については次の世代に任せたいと考えています。

## 9 下水道管理について（道路側溝に訂正）

### 【意見等】

下水道管理については市がどこまで責任を持つのか。最近、近くに新しい団地ができて、下水道を自分の地区につなげた。その後、藻が大発生するようになって5年が経つ。月一回掃除をしている。個人で行うレベルではない。新しい団地の方にも応分の負担をお願いしたいが、声をかけても組織ができておらず、話が進まない。

### 【回答】

下水道に関しては市の責任である。来週状況を確認させます。

懇談会終了後に聞き取りを行った結果、下水道ではなく、道路側溝のことであった。

## 10 市道の草刈りについて

### 【意見等】

市道の草刈りにかかる費用はどのくらいか。

### 【回答】

市道は市が管理しています。現在負担を軽減するため、通りの少ない道路に関しては、今まで年2回行っていた草刈りを1回にしています。

また、一定の区間で、道路里親制度を取り入れ、団体に草刈りを頼んでいます。市はジュース代や油代を提供しています。

しかし、団体の高齢化によって、今後の維持管理が課題です。

## 11 青年海外派遣団員の募集について

### 【意見等】

青年海外派遣団員の募集について最近知った。対象の年齢を上げてほしい。シニアは半額負担とか工夫してほしい。

### 【回答】

その事業は、笠間市出身の方で、会社を立ち上げた方から150万円の寄付を受けて行っている。若者に海外を見せて将来的に市に貢献してほしいという寄付者の意向があります。年齢制限については、寄付者の意向も考えて、来年度以降に工夫していきたいと思います。

ただ、観光旅行で終わることがないように、人選については、厳しく見なければなりません。

## 12 行政区加入促進について

### 【意見等】

市から行政区への加入促進についての資料が回覧で回った。そのおかげで私の地区では2戸の新規加入があった。ぜひ続けてほしい。

### 【回答】

わかりました。続けていきます。